

ＪＩＣＡ２０１７年度トルコ国別研修 「地域開発に係る地方行政官の能力開発プロジェクト」コースを受け入れました。

平成 30 年 1 月 22 日から 2 月 13 日にかけて、トルコ共和国内務省の行政官 11 名が参加する研修を受け入れました。

トルコでは地域格差を是正するために、各地域の資源や特色を有効に利用した地域開発のビジョンが必要とされており、県知事、郡長として地方を統治する内務省地方幹部行政官は、広域的な地域開発の知見を深めることが求められています。

北海道開発局は、国が注力した北海道総合開発の経験を伝えることはトルコにおける地域開発の質の向上に資するとの考えにより ＪＩＣＡ から依頼を受け、現役の副知事または郡長を務めるトルコ内務省の行政官を対象とした本研修の実施に協力いたしました。

なお、本研修は平成 29 年 1 月から 2 月、7 月から 8 月にかけても実施されており、今回で 3 回目の開催となりました。

【北海道開発局長表敬訪問】

来道間もない研修員が局長を表敬訪問し、本研修への抱負を語り、意見交換が行われました。



表敬訪問後の記念撮影

【研修の様子】

研修プログラムは、北海道総合開発の紹介をはじめとして、道の駅、シーニックバイウェイ、民族共生の象徴となる空間の整備、当局が実施する事業について、職員が講師となり講義を実施したほか、先進的な地域開発の取組について学ぶため、地方自治体や様々な団体にご協力を賜り各地を視察しました。2 月 2 日に訪れたニセコ町では、片山町長から町の政策について説明を受けた後、意見交換の時間を設けました。



北海道総合開発の体制についての講義



ニセコ町長との意見交換



アイヌ民族博物館にて伝統食を体験

研修終盤に研修員に実施されたアンケートによると、多くのプログラムが有益だったと評価されるとともに、講師及び視察先の皆様の熱心なご対応により、講義内容はもちろん、日本人の仕事の仕方、他者を敬う姿勢にも感銘を受けていたことがわかりました。

当局が協力した分野では、道の駅の農産品直売所や、シーニックバイウェイにおける市民団体の活動などが、トルコにおける課題解決に適用可能であるというコメントがあり、視察においても熱心に写真を撮る姿が見られました。

【アクションプラン発表会】

研修最終日に開催されたアクションプラン発表会では、北海道で学んだ地域開発事例を活用し、トルコにおいてどのような事業を実施するのか、研修員が一人一人発表しました。シーニックバイウェイに着想を得た歴史道路を活用した地域開発や、高品質の農産品を生産する北海道の農家や農産品を直売する道の駅等を参考にした地元の畜産業開発など、独自のアイデアを聞くことができました。

発表後はコースリーダーとして初回から本研修に携わる前釧路公立大学学長 小磯修二氏から総評及び各研修員へのアドバイスをいただき、研修の成果を確認しました。



発表する研修員



コースリーダーからのコメント

【閉講式】



JICA 北海道 次長から修了証書の授与

2週間の研修も無事終了し、2月13日に閉講式を迎えました。

JICA 北海道次長から各研修員に修了証書が授与され、北海道開発局からは国際室長が本研修協力機関として挨拶を申し上げます。研修員代表からは、本研修関係者への感謝の意と、研修内容を今後の業務に活用していくことへの抱負が述べられました。

北海道総合開発の取組や、各地の地域開発の取組がトルコにおいて活かされることが期待されます。